

7月25日(火) 国東町田深天満社

田深天満社お練り

江戸時代の正保2年(1645年)に始まった「お練り」は、昭和33年に後継者不足のため一時期途絶えていましたが、昭和60年に復活し、今では国東町の風物詩として人気を呼んでいます。

神事のあと、午後5時に田深天満社を出発。よろい武者を先頭に、陣笠をかぶりハッピをまとった田深お練り保存会の皆さんや子どもたちが続き、江戸時代の大名行列を再現していました。

子どもたちの勇ましい姿に多くの見物人から拍手や喝采が沸き起こっていました。



▲「ヤートコセ」「ヤマカセ」と声を掛けながら、毛槍やほこを振りかざします



▲よろい武者を先頭に天満社を出発



▲五穀豊穡や家内安全などを願って盆踊りを踊りました

陰陽の形をした団子とともに帝釈天に踊りを奉納するホーヤク祭りは、旧暦6月17日の夜に行われる横手高良地区の夏の祭りの別称で、五穀豊穡や家内安全などを願った盆踊りが終わると男衆には女ものの、女衆には男ものの団子が配られるユニークな祭りです。



▲地区の人々が公民館に集まり、それぞれ思い思いの「だんご」を作りました

ホーヤク祭り

7月13日(木) 国東町高良地区

7月30日(日)～8月1日(火) 国東町桜八幡神社

桜八幡神社夏越大祭

養老年間に建立された由緒ある桜八幡神社の夏祭りでは、コンチキチン、コンチキチンと鉦太鼓の音が鳴り響いたら、夏祭り一番の見所の山車の出番です。人々の歓声を浴び、ところ狭しと元気よく町内を走り回ります。



▲アマチュアバンド演奏・カラオケで賑わった「つるがわまつり」(7月30日(日))



▲山車が威勢のよい若者に曳かれ、町中を走り回ります